

第3回 伊丹市まちづくり基本条例の見直しに係る市民会議

会議録(要旨)

日時：平成26年8月24日(日)午後6時30分～8時40分

会場：いたみホール 多目的ホール

出席委員：伊藤委員・上埜委員・大田委員・唐澤委員・阪上委員・栄田委員・白岩委員・
千秋委員・高橋長司委員・高濱委員・中堂委員・信木委員・真野委員・
吉本委員

司会：上埜委員

1. 開会

(1) 出席委員・傍聴者の報告

出席委員：14名

傍聴者：2名 (他に行政職員の見学3名)

(2) 議事録署名人

今回は伊藤委員と上埜委員にお願いする。

2. 議事

(1) グループ討議「審議会への市民参画について」「行政評価について」

出席委員を2グループに分け、それぞれ討議。その後、発表を行い全体で議論。

【グループ討議で出た意見の概要】

審議会への市民参画について

(意見の概要)

- ・委員を公募されていることを知らない市民が多い。広報伊丹や市のホームページだけではなく、自治会回覧なども活用するなど、それぞれの審議会で何を検討しているかなど、情報提供を行ってほしい。
- ・市民委員の役割を条例に明示してはどうか。
- ・無作為抽出を活用して、委員の選任を行ってはどうか。
- ・無作為で初めて選出された委員は、議論に加わることが難しい場合があるので、自治会などに協力してもらって選任してはどうか。
- ・公募以外の選出方法(地域ごとの意見を反映させるために自治会に依頼するなど)を条例に規定してはどうか。

（意見の取り扱いについて）

さまざまな意見が出されましたので、今回、試行的に行っている無作為抽出の検証結果や、委員の意見をもとに、制度改善できることがないか、条例改正が必要などころがないか、担当であるまちづくり推進課としても検討していきます。

行政評価について

（制度の改善に関する意見）

- ・行政評価の報告書については、内容が多く、グラフを用いるなど視覚的な工夫もある点がいいと思う。ただ、分量が多すぎるので、抜粋するなどの工夫も必要だと思う。
- ・行政評価の項目をもう少し集約してはどうか。
- ・昨年度の課題との比較があればいいと思う。
- ・目標の設定の決め方をどうやっているのかがよく分からない。大事なことなので、決める時にしっかり決めてほしい。
- ・予算と決算との差をパーセンテージで出してほしい。
- ・第三者なのか、議会なのか、監査なのかわからないが、評価や指標の設定が適切であるかどうか、チェックする仕組みが必要ではないか。
- ・評価結果を市のホームページで公開しているというが、知らない人も多い。多くの人に知ってもらう方法を工夫してはどうか。

（第9条の規定に関する意見）

- ・まちづくり基本条例そのものを知っている人が少ないのに、行政評価を知っている人がそれほどいるとは思えない。第9条第2項に「広く、分かりやすく」の文言を加えてはどうか。

（他のグループからの意見）

- ・行政評価結果報告書は、まちづくり基本条例に基づいて作られているとのことであるが、実際のところとしては、報告書は議会に配布することを目的に発行しているように見える。議会に（評価結果を）活用してもらうことが行政評価の目的であるのなら、条例にその旨を規定してはどうか。

（意見の取り扱いについて）

いただいた意見については、制度そのものに関することは、行政評価の担当課に伝え、検討する。

条例の改正については、附属機関である「伊丹市参画協働推進委員会」で法制化に向け、具体的に検討する。

(2) 次回会議の検討事項について

市民意見表明制度 (パブリックコメント制度) について

市民投票について

【資料 2 に基づき、事務局より説明】

3 . 閉 会

今後の予定の案内

第 4 回 平成 2 6 年 9 月 2 9 日 (月) 1 8 : 3 0 ~

伊丹市総合教育センター 2 階研修室

(後日通知を送付。通知後、欠席の場合は連絡をお願いする)

以上の通り、第3回伊丹市まちづくり基本条例の見直しに係る市民会議
会議録として確認します。

(以下、署名2名)